

ひろば8月企画

夏祭りに「涼み処」

夏祭りの3日間、小出正吾文学記念碑の前に「涼み処」の手作り看板を出して一般公開をした。



17日は雨で一般参加者はゼロであったが、15日、16日両日は家族が数組参加。祭りを楽しんだ後に、涼み処で気軽に参加できる内容を用意した。

公開の内容は日替わりDVD映写と常設子供向け科学実験の二本立てで、日替わりのメニューはこれまた手作りの黒板に書いて外に掲示した。

昔の大社の祭り

ひろば会員N氏の話

8月15日はにぎやかな三島大社の祭りだが、同時に敗戦の日である。1945年8月15日、玉音放送が流れ、人々が戦争の終わりを祝った。三島はどんな様子だったのだろうか。お祭りはやっていたのだろうか。

沼津高尾山古墳

沼津市は8月6日臨時記者会見を開き、従来の計画姿を消す古墳墳丘部の跡地に車道を建設、古墳を取り囲む堀の一部は埋め立て、その上に歩道を建設、この結果一部のみが地下に保存される。沼津南一色線整備の両立を図るとした。



沼津高尾山、根方街道沿いの古墳発掘現場。この協議会が最終案と結論を出すのではなく、あくまでも市長が結論を出す際の判断材料の提供の役割という。この委員は公表されているが、委員の専断が入っていない。副市長は古墳の価値は協議会のメンバー全員が共有している」と答えた。

別の話では、玉音放送を聞いて大社に行ったら山車がでていたがそこでシャギリをやっていたか、は記憶がないとのことだ。いずれにしても、あの戦争中でお祭りはやっていたことは間違いなく、読者からも斬新なアイデアを寄せていただきたい。

平和のための戦争展

戦争の悲惨さを知り、平和の尊さを学ぶ



(墨塗り教科書)

この催しは8月19日から5日間、生涯学習センターで開催された。主催は核兵器をなくし平和をつくる三島市民の会。今年度は16回目になる。

寺田美智子さん 旭ヶ丘。入学と同時に奉安殿への最敬礼の柱。天皇の命を信じた。3年生の時、戦争学校令が公布された。戦争学校令はそれを支える人間が必要である。皇国民教育、軍国教育はさまたげなかった。先生の言うことは絶対許されなかった。当然ならば軍国少女となったが、

花上俊子さん 光が丘。北朝鮮生まれ。父の仕事や戦争のため、転校をくり返した。10歳の時に終戦。すし詰め引き揚げ列車、釜山の埠頭の、昼夜乗船待ち、女界灘の波の荒さなどを経験し、やっと思いを待たされた。

女子校1年の時敗戦。修身、国史の本は没収となり、国語の教科書は軍国主義的な部分を墨で塗って消させられた。殆ど全部。教わったこと全てが否定されたという。自分も否定された。悔しさ、怒り、悲しさを繰り返してはならないという思いに変わり、戦後の70年間を生きてきたという。

本棚便り①

海の上の少女



遠い海の真ん中で、水面に浮かぶ小さな村の住人。は、たった一人、十一歳の少女だけ。少女は毎朝、誰かの手紙を書き、宛先は海へと投げる。南米ウルグアイに生まれたフランシス・グレイに生まれたフランシス・グレイの、シンプルな文。

市民ひろば 住所 〒411-0858 三島市中央町3-32 小出ビル3F 電話 055-984-9211 E-mail shiain\_hiroba@bb.ne.jp

核兵器をなくし平和をつくる 三島市民のつどい 2015年11月15日 三島市文化会館ホール 開演 13:30(開場 13:00) 協力券 1000円 小中高 500円

3.11から未来へ 原宿新戸から始まる明るい 静岡 小出裕章さん講演会 2015年10月17日(土) 13:30~16:00 (開場13:00) 静岡労政会館 6階ホール

420回 児童文学を語る会 例会のお知らせ 日時:9月26日(土) 13時~16時30分 場所:市民活動センター(本町タワー) 4階 第3会議室 テキスト:大川悦生 作 「おかあさんの木」 連絡先:三島市中央町8-8 山口 971-3348

TAYA 美の匠 代表 田屋 有季子 〒411-0801 三島市谷田243-2 TEL&FAX 055-981-8019 携帯 090-8154-4324